

感染制御部は、患者さんと職員、学生を感染症のリスクから守る

感染制御部部長 田内久道

院内感染に関する指導・治療・教育を行う感染制御部は、小児科医である私などの医師をはじめ、院内感染専門の看護師や、抗微生物薬に詳しい薬剤師、高度なレベルで微生物や免疫を解析する検査技師、そして事務スタッフと多職種の集まる組織です。日本でも院内感染の認識が高まった2007年に院内感染対策室から部として組織化されました。部の活動により、病院内の耐性菌の割合は減っています。例えば、当院で検出される黄色ブドウ球菌のうち、感染制御部が始まったころには耐性菌の率は50%でしたが、今は30%まで抑えられています。

また、大学病院では学生が現場に出入りします。学生が院内に感染症を持ち込むことも、院内の患者さんから感染症をもらうこともあってはなりません。そのための教育と対策を行うのも私たちの活動の一つです。更に、2017年からはJICAのプロジェクト（モンゴル初の大学病院の運営）に徳島大学と共同で関わっています。院内感染対策の概念がないモンゴルに、感染制御の導入・教育・指導を行っています。私達はすべての患者さん、職員、学生を感染症リスクから守るため活動を行っています。



PROFILE

たうちひさみち◎1989年愛媛大学医学部卒業。1999年より当院にて勤務。専門は小児科・感染症。小児科専門医、日本血液学会専門医・指導医、日本感染症学会感染症専門医・指導医等取得。2011年より現職。趣味はネコ。